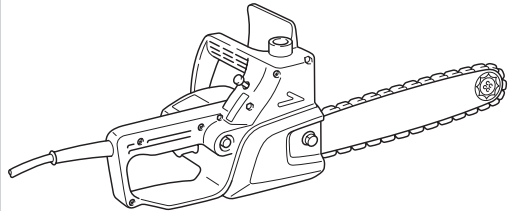


Makita

取扱説明書

300mm チェーンソー

回 モデル 5012B



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは300mmチェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ チェンソー安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ チェーン刃の取り付け・取りはずし方	14
・ チェーン刃の調整	15
・ スイッチの操作	16
・ チェーン刃の潤滑	16
・ 切断方法	17
・ オーバーカレントリレー（モータ保護機構）について	18
・ チェンソーによる各種の作業方法	19
・ 保守・点検について	21
・ 上刃および横刃の目立て	21
・ デブスゲージの調整方法	22
・ ガイドバーの清掃	22
・ 本製品の保管	23
・ カーボンブラシの交換	23
・ 本製品のお手入れ	23
・ ご修理の際は	23

主要機能

主要機能	モデル	5012B
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		12 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,140 W
鋸身長（切断有効長さ）		300 mm
チェーン刃スピード		26.7 m/s (1,600 m/分)
使用チェーン刃		オレゴン形式 91VG-45E/91PX-45E
長さ		560 mm
質量		4.3 kg
振動 3 軸合成値		3.0 m/s ²

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェンソーを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
3. 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
 - ・ 本製品がはね返り、けがの原因となります。
4. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。
5. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - ・ 本製品がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 作業中は常に手袋、保護メガネ、耳栓、チェーンソー用防護ズボンを着用し、履き物は滑りにくい物を着用してください。
 - ・ けがの原因になります。

[事業者の方へ]

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

(関連法令)

労働安全衛生法第59条第3項

安全衛生特別教育規程第10条※

労働安全衛生規則第36条第8号※

※ただし、2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2、労働安全衛生規則は第36条第8号および8号の2となります。

⚠ 注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
2. 使用しないときは、チェーンカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かない所に保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
 - ・ 本製品が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
5. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ ガイドバーが挟みつけられると、けがの原因になります。

注

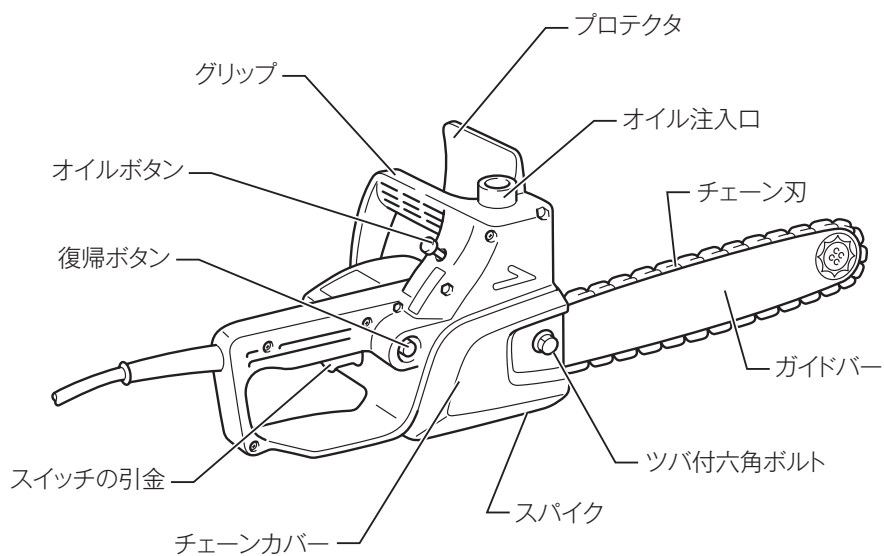
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ オイルベセル (100 mL)
- ・ ボックスレンチ 13
- ・ +ドライバ
- ・ 丸ヤスリ

別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ チェーン刃 91VG-45E
部品番号：A-04117
- ・ チェーン刃 91PX-45E
部品番号：A-55675
- ・ ガイドバー
部品番号：164533-0
- ・ チェーンオイル
部品番号：A-34702

使い方

チェーン刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

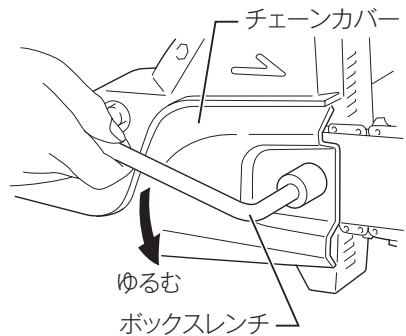
⚠ 注意

チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

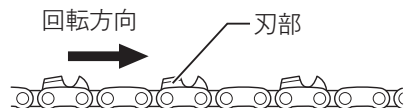
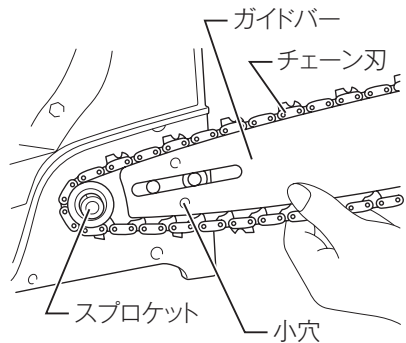
- ・ けがの原因になります。

取り付け方

- ・ ボックスレンチでチェーンカバーを取り付けているツバ付六角ボルトを取りはずしてください。
- ・ チェーンカバーを取りはずしてください。



- ・ チェーン刃をガイドバーの先端に入れ、他端を本製品のスプロケット部に入れてください。この際、チェーン刃はイラストの矢印方向に回転しますからチェーン刃の方向をイラストのようにセットしてください。



使い方

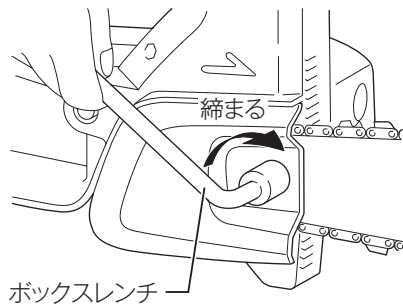
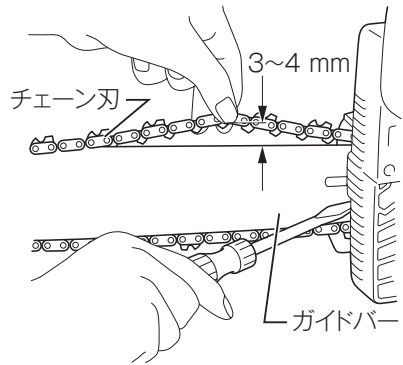
- ・ ガイドバーを本製品の取り付け面にのせ、ガイドバーの下部の小穴が、本製品にはめ込んであるアジャストピンに入るよう、ネジ回しで本製品前部よりボルトを調整してください。
- ・ チェーンカバーをガイドバーの上へのせ、ボックスレンチでツバ付六角ボルトを軽く締め付けてください。
- ・ チェーン刃の調整（手順は 15 ページ参照）に従ってチェーン刃の張りを調整し、ボックスレンチでツバ付六角ボルトを強く締め付けてください。

取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

チェーン刃の調整

- ・ ガイドバーの中央部でチェーン刃を持ち上げて本製品が浮きあがった時、ガイドバーとチェーン刃との間が、3～4 mm 程度になるように本製品の前面にある調整ボルトで調整してください。このとき、ガイドバーの先端を軽く持ち上げた状態で調整してください。
- ・ チェーン刃の調整が終わりましたら、ボックスレンチでツバ付六角ボルトを強く締め付けてください。



注

- ・ チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
- ・ チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの摩耗などの原因になります。
- ・ 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- ・ チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切りくずなどのないきれいな場所で行ってください。

使い方

スイッチの操作

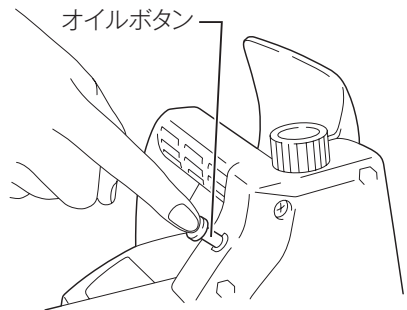
⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

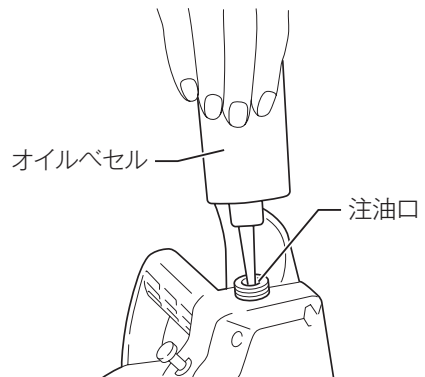
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。

チェーン刃の潤滑

- ・ チェーン刃を回転させながらオイルボタンを押すと、ガイドバーの溝部にオイルがゆきわたります。連続使用 2～3 分毎にオイルボタンを 5～6 回押してください。



- ・ オイル注油は、グリップの下についている注油口のふたをはずし、オイルベセルで注油してください。



注

- ・ オイルは、タービン油# 68 相当のオイルをご使用ください。
- ・ 粘度の高いオイルは、給油量が少なくなる事がありますからご注意ください。
- ・ ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

使い方

切断方法

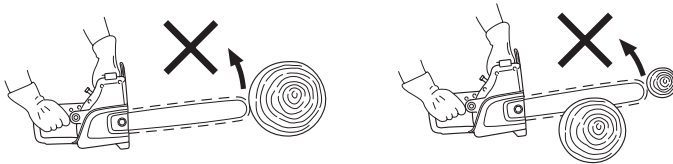
⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

- ・ 本製品が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。



⚠ 注意

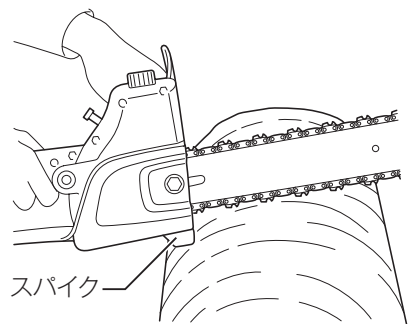
切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。

2台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

- ・ 事故の原因になります。

- ・ チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ってください。
- ・ 本製品を木材に当てて、そのまま真下へ押し付けて切断してください。
- ・ 本製品前部のスパイクを木材に当てて切断すると、本製品が安定します。



注

- ・ 本製品に無理な力を加えないでください。

使い方

オーバーカレントリレー（モータ保護機構）について

⚠ 警告

復帰ボタンを押す前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま復帰ボタンを押すと急に動き出し、事故の原因になります。

- ・ 本製品は、過負荷状態になりますと、オーバーカレントリレーが作動し自動的に停止します。その際には、スイッチの引金を放し、本製品を材料より離してチェーン刃の張り具合などを点検し、オイルボタンを押してオイルを十分供給してから、復帰ボタンを押してください。



注

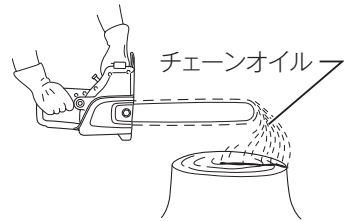
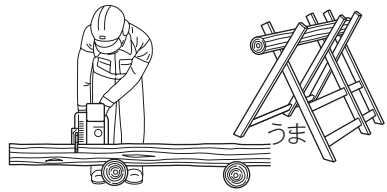
- ・ 復帰ボタンを押すときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。

使い方

チェーンソーによる各種の作業方法

基本的な作業

- ・ 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定してください。
- ・ ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れてください。ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。
- ・ ガイバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本製品を押し付けて切断してください。この際、無理に本製品に力を入れないでください。

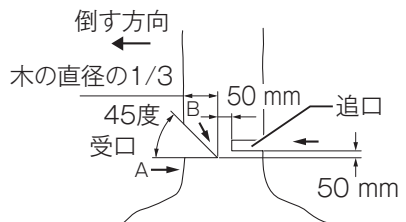
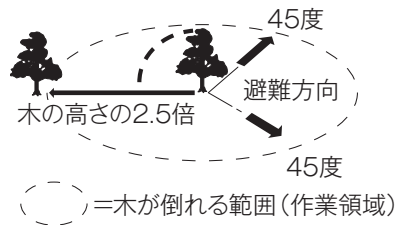


各種の切断作業例

- ・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、お買い求め先に相談して適切な指導を受けてください。

1. 伐木作業（立ち木を倒す作業）

- ・ 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- ・ 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
- ・ 作業中は、木が倒れる範囲（作業領域）内に作業員以外の人や動物などを近づけないでください。
- ・ 木を倒す方向に、直径の $\frac{1}{3}$ 程度の切り込みを A、B の順に入れて受口を作ってください。
- ・ 受口の水平部より約 50 mm 上部に、受口の水平部と平行に追口を切り込んでください。

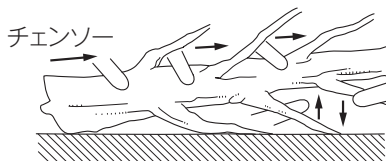


使い方

- ・ 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
- ・ 木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、チェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

2. 枝払い作業

- ・ 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方方向より切り落としてください。
- ・ 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。

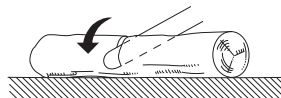


3. 造材作業（倒した木を切断する作業）

- ・ 丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

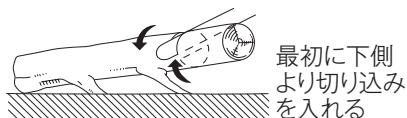
(1) 丸太全体が地面に接している場合

- ・ 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



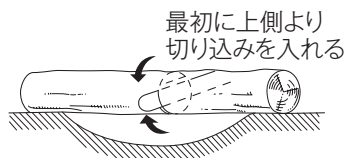
(2) 丸太の一端が支持されている場合

- 1) 最初に丸太の下側より直径の1/3まで切り込んでください。
- 2) 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



(3) 丸太の両端が支持されている場合

- 1) 最初に丸太の上部より直径の1/3まで切り込んでください。
- 2) 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



(4) 斜面で丸太を切断する場合

- ・ 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。
- ・ 山側に立って、(1)~(3)の内の適した方法で作業してください。



保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

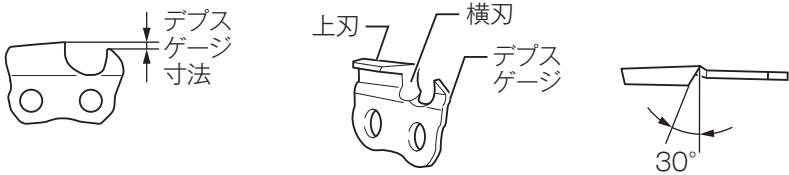
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

上刃および横刃の目立て

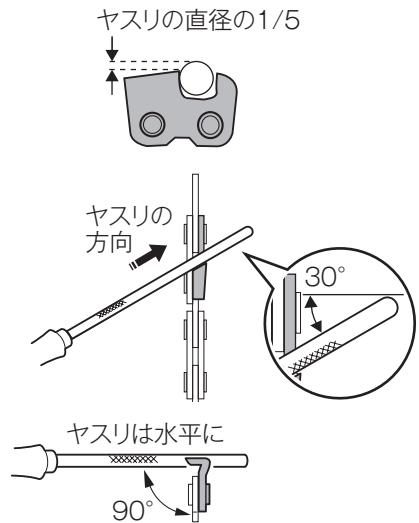
⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。

- ・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。



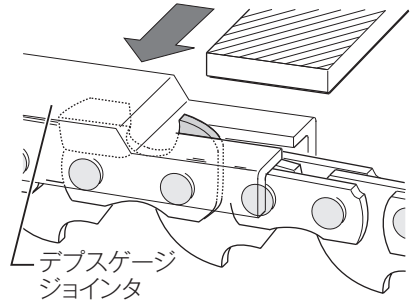
- ・ ガイドバーに対して丸ヤスリを 30° 傾け、丸ヤスリの直径の 1/5 が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。
- ・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



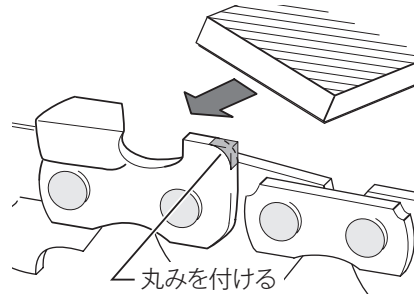
保守・点検について

デプスゲージの調整方法

- ・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正 (0.64 mm) に保つためのものです。
1. 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。



2. デプスゲージの角に丸みを付けてください。
3. デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落とししてください。

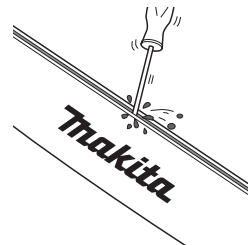


注

- ・ 刃部の目立てには、外径が 4 mm (呼び 5/32") の目立て専用丸ヤスリを、またデプスゲージの目立てには、目立て専用平ヤスリをご使用ください。

ガイドバーの清掃

- ・ ご使用中に、切りくずがガイドバーにつまることがあります。切りくずがガイドバーの溝に詰りますと、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切りくずを除去してください。



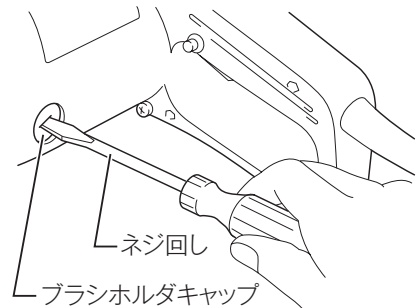
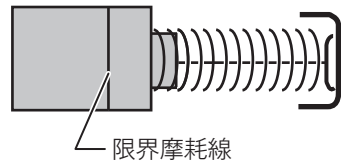
保守・点検について

本製品の保管

- ・ チェーンカバーを取りはずし、本製品に付着した切りくずを除去してください。
- ・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- ・ チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
- ・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、保管してください。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず両側とも行ってください。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881167K1
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)